

会 議 要 旨 書

会議名	令和6年度第2回三鷹市文化財保護審議会定例会
日時	令和6年7月8日(月)午後6時30分～8時30分
場所	三鷹市教育センター2階 第二中研修室
出席委員 (8人)	中野達哉、濱野周泰、小林謙一、福野明子、神野善治、初田香成、 M・ウィリアム スティール、日高慎
欠席委員 (0人)	
事務局 (5人)	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化部調整担当部長 平山寛、 生涯学習課長 八木隆、 生涯学習課主査 下原裕司、生涯学習課主任 齊藤満里奈
会 議 の 公 開・非公開	公開
傍聴人数	1人
1 委嘱式 大朝部長より、委員へ委嘱状の交付を行ったのち、委員の自己紹介及び事務局職員の紹介を行った。 2 開会 事務局より、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき会議の公開、会議録の作成、公開についての説明及び配付資料の確認を行った。 3 会長及び副会長の互選 三鷹市文化財保護条例第51条の規定に基づき、委員の互選により、会長にはB委員、副会長にはE委員が選出された。 4 議題 (1) 部会の構成について 事務局より、部会の構成について説明を行った。 【A委員】F部会（事業内容：市民協力員の養成、「三鷹まるごと博物館」の推進、エコミュージウム研究『みいむ』の刊行）にも参加したい。 （全員、異議なし） 【B委員】A委員にF部会にもご参加いただくこととする。 (2) 事業報告と計画について 事務局から、5月以降に実施した事業について主なものを報告した。 次に、7月以降の事業について主なものを報告した。 【C委員】みたかえるの体験学習の集客数を伺いたい。また、旧石器人ということは、考古学展示会と連動するような感じか。 【事務局】例年3日間で200人弱程度である。また、考古学展示会と講演会は連動させる計画である。 【A委員】水車・古民家まつりでの鷹飛ばしとはどのような内容なのか。 【事務局】諏訪流放鷹技術保存会の方に来ていただき、実際に鷹を飛ばして、鷹の状態によっ	

ては、参加者の腕に止まらせるような参加も想定している。様々な鷹を間近で見たり触れ合ったりするような内容となる。昨年の水車・古民家まつりでも実施し、同じ団体に再度出演いただく。

【A委員】年中行事フィギュアとはどのような内容なのか。

【事務局】三鷹でかつて行われていた年中行事で使う生の食材を製作する。今年はお盆の精霊午（キュウリ）・牛（ナス）、節分のメザシ、ヤイカガシ、初午のアブラアゲ、当時のカボチャ、正月の鏡餅などを作る予定である。

【D委員】古民家企画展示「大沢ほたる一生体とその環境―」について、三鷹でホタルが見られるのは素晴らしいことだと思う。展示はどのような展示内容なのか。また、野川公園と大沢のほたるの系列を伺いたい。

【事務局】展示については、令和5年度に開催した「大沢ほたるの一生」で講師の古河義仁氏が講演された内容を基に、ほたるの生育環境や、ほたるがどのように生まれて成長していくのか、ほたるを守りながら鑑賞するための注意事項などをパネル展示した。

ほたるの系統については、野川公園も大沢もどちらもゲンジボタルであるが、ほたるの生息区域は狭く、また成虫の発生時期も少し時間差があるため、少し系統が異なっているのではないかと推測されている。

5 その他

事務局から、市指定文化財である山本有三記念館の現状変更についての事前報告があった。

【事務局】現在、設備改修の設計を進めようとしている。内容としては、空調の室外機が現在は公園側にあるので、東側の人目につかない場所に集約させる予定である。その際、床下配管を施工するにあたり、建物の床の一部に小さな孔を開けざるを得ない可能性がある。できるだけ文化財に影響を与えない施工にするが、設計を進め、やむを得ず文化財に影響を及ぼす場合には、最小限に留め、現状変更届を行う予定である。

今回工事のその他の部分は、令和7年度に見学施設整備のために行った改修部分の設備入替え等によるものであるため、現状変更には該当しないと考えている。

【B委員】設計はいつ頃実施するのか。また、見積りは何社を予定しているのか。

【事務局】令和6年度に設計を行う。設計会社は指名競争入札により選定した。令和7年度中に施工を完了する予定である。

【C委員】予算はどれくらいなのか。

【事務局】別の部署が所管のため、金額は不明である。

【E委員】コストのみの観点で入札すると、文化財保護の観点から文化財を傷つけることになってしまうことがある。文化財の工事であることを仕様内容に明記したほうがよいだろう。

【D委員】今回の改修によって、山本有三が使っていた当時の状況に戻すような方向性で設計を進めることはできないだろうか。

【大朝スポーツと文化部長】三鷹市の施設となった時点で、相当な改修がすでに行われていた経過がある。平成7年の三鷹市の改修は、見学施設としての設備を改修したもので、今回工事は30年を経た設備補修や入替えの内容となっている。

【B委員】次回は、視察で令和6年9月12日（木）とさせていただく。以上をもって、令和6年度第2回三鷹市文化財保護審議会定例会を終了する。